

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.369】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：エドヴァルド・グリーグ

曲名：ピアノ協奏曲イ短調

演奏：ジャン＝フレデリック・ヌーブルジェ（ピアノ）／ダリア・スタセフスカ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55644>

2025年3月1日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



スタセフスカがシベリウス、グリーグ、ドビュッシーでベルリンフィルにデビュー。今回、フィンランドの指揮者、ダリア・スタセフスカがベルリンフィルにデビューします。彼女がまず披露するのは、フィンランドの2人の作曲家の作品。フィンランドの伝説的な世界を描くシベリウスの音詩《ポホヨラの娘》は、劇的な響きで観客を魅了するでしょう。カイヤ・サーリアホの神秘的な作品《オリオン》では、同名の星座が描写されます。プログラムにはそのほか、ドビュッシーの《海》と、ジャン＝フレデリック・ヌーブルジェを独奏に迎えたグリーグのピアノ協奏曲が並びます。

以上の他に下記が演奏されました。

ジャン・シベリウス 交響詩《ポホヨラの娘》 op. 49

クロード・ドビュッシー ベルガマスク組曲》より 〈パスピエ〉

ジャン＝フレデリック・ヌーブルジェ(ピアノ)

カイヤ・サーリアホ 《オリオン》

クロード・ドビュッシー 交響詩《海》

グリーグのピアノ協奏曲はお馴染みの曲でヌーブルジェの端正なピアニズムで切れのよい演奏です。ドビュッシーのベルガマスク組曲》はアンコール曲の小品です。

シベリウスの交響詩《ポホヨラの娘》は、いかにもシベリウスらしい暗い表情もみせる

曲です。

サーリアホの《オリオン》は、夜空にまたたくオリオンの星座をイメージした曲で暗黒の夜空のハープや弦と木管の高音、鉄琴などで神秘的なきらめきを現しています。

ドビュッシーの交響詩《海》は、お馴染みのもので、おだやかな表情から荒れる様子などを描写した曲です。

スタセフスカの指揮は初めてですが、スケールの大きい指揮で多彩な表情を引き出しています。

PC の仮想アースの Crystal E Jtune への Crystal E の連結の効果で、多彩な表情の上記の曲を表現しています。



以上